

**中望遠単焦点レンズ「RF85mm F2 MACRO IS STM」を発売
ボケ味を生かしたポートレート撮影やマクロ撮影に対応**

キヤノンは、「EOS R システム」の核となる交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、中望遠単焦点レンズ「RF85mm F2 MACRO IS STM」を2020年10月下旬に発売します。



RF85mm F2 MACRO IS STM

「RF85mm F2 MACRO IS STM」は、大口径・ショートバックフォーカス^{※1}という「RF マウント」の特長を生かすことで誕生した小型・軽量の中望遠単焦点レンズです。ハイアマチュアやエントリーユーザー向けの中望遠単焦点レンズをラインアップに加えることで、ユーザーの写真表現の幅を広げ、撮影のさらなる楽しさを提供します。

■ ポートレート撮影に適した焦点距離 85mm の中望遠単焦点レンズ

焦点距離 85mm の単焦点レンズは、被写体に圧迫感を与えず適度な撮影距離を保つことができるため、ポートレート撮影を中心に強いニーズがあります。また、開放 F 値 2 の明るさにより、ボケ味を生かした撮影が可能で、ポートレートだけでなくスナップ撮影など、さまざまなシーンで使用できます。さらに、最大撮影倍率^{※2}0.5 倍、最短撮影距離 0.35m のマクロ（近接）撮影機能を備え、被写体に接近した撮影では、身の周りの小物や花など、肉眼では捉えることが難しい細部や質感を表現できます。

■ 「RF マウント」の特長を生かした携帯性と高画質の両立

「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカスを生かし、レンズ群の後端（カメラ側）に口径の大きなレンズを配置しています。「UD レンズ^{※3}」1 枚を含む 11 群 12 枚の光学設計を採用し、全長約 90.5mm、質量約 500g の小型・軽量を達成するとともに、画質劣化の原因となる諸収差の低減を実現しています。

■ シャッタースピード換算で 8.0 段^{※4}の手ブレ補正効果

「EOS R5」（2020年7月下旬発売予定）装着時は、ボディ内の手ブレ補正機構と協調制御することで、シャッタースピード換算で 8.0 段^{※4}の手ブレ補正効果を実現します。「EOS R」（2018年10月発売）装着時は、5.0 段^{※4}の手ブレ補正効果を実現します。

製品名	希望小売価格	発売日
RF85mm F2 MACRO IS STM	オープン価格	2020年10月下旬

※1 最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。

※2 被写体の実際の大きさと撮像素子に写る像の大きさの比率。撮影倍率が等倍であれば、被写体を原寸大である等倍（1.0 倍）で撮像素子上に写すことが可能。

※3 「UD（Ultra Low Dispersion＝特殊低分散）ガラス」を用いたレンズ。

※4 CIPA 規格に準拠。

● 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンお客様相談センター

050-555-90002

● E O S ホ ー ム ペ ー ジ：canon.jp/eos

<主な特長>

1. ポートレート撮影に適した焦点距離 85mm の中望遠単焦点レンズ

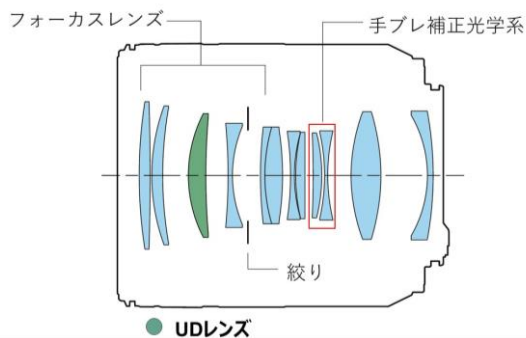
- ・被写体に圧迫感を与えず適度な撮影距離を保つ焦点距離 85mm を生かし、被写体の立体感や背景との遠近感を自然に表現できる撮影が可能。
- ・開放 F 値 2 の明るさにより、ボケ味を生かしたポートレートやスナップ撮影など、さまざまなシーンに対応。
- ・最大撮影倍率 0.5 倍、最短撮影距離 0.35m のマクロ撮影機能を備えているため、被写体に接近した撮影では、肉眼ではとらえることが難しい身の回りの小物や花などの質感や細部の表現が可能。
- ・フォーカスリングに加え、露出補正や絞り数値の設定などを任意に割り当てて使うことができるコントロールリングを搭載。電子ビューファインダー（EVF）で撮影後のイメージを確認しながら、コントロールリングを操作することで、より直感的で快適な操作が可能。



最大撮影倍率 0.5 倍、
最短撮影距離 0.35m によるマクロ撮影

2. 「RF マウント」の特長を生かした携帯性と高画質の両立

- ・「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカスを生かし、レンズ群の後端（カメラ側）に大きなレンズを配置。
- ・「UD レンズ」1 枚を含む 11 群 12 枚の光学設計とコーティングにより、全長約 90.5mm、質量約 500g の小型軽量を実現するとともに、画質劣化の原因となるフレアやゴースト、諸収差を抑制。
- ・9 枚羽根の円形絞りを採用することにより、柔らかく美しいボケ味を表現可能。



“RF85mm F2 MACRO IS STM” の
光学構成図

3. シャッタースピード換算で 8.0 段の手ブレ補正効果

- ・「EOS R5」装着時は、ボディ内手ブレ補正機構との協調制御により、静止画撮影時に 8.0 段の手ブレ補正効果を実現し、動画撮影時も高い手ブレ補正効果を発揮。
- ・「EOS R」装着時は、静止画撮影時に 5.0 段の手ブレ補正効果を実現。
- ・マクロ撮影時の手ブレを高精度に補正する「ハイブリッド IS」を搭載。

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。